

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年																		2020年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~3日	11月 ~10日	11月 ~17日	11月 ~24日	12月 ~1日	12月 ~8日	12月 ~15日	12月 ~22日	12月 ~29日	1月 ~5日	1月 ~12日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	14	11	15	9	23	26	18	17	7	3	8
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	13	7	10	11	3	12	5	10	9	0	8
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	4	3	2	4	7	2	1	0	3	0	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	2	2	4	2	7	4	6	4	5	0	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	4	2	1	3	1	3	0	3	3	2	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	0	1	3	2	0	1	6	8	4	0	5

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報 令和2年第2週(1月6日~1月12日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4		1		1		1	1
三類	0	発生なし	0							
四類	0	発生なし	0							
五類全数	15	アメーバ赤痢	2					2		
		カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2					1	1	
		急性脳炎	2					2		
		梅毒	4					3		1
		百日咳	5		3			2		

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市  
西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町  
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町  
北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

令和2年第2週(1月6日～1月12日)

■コメント

1. インフルエンザ

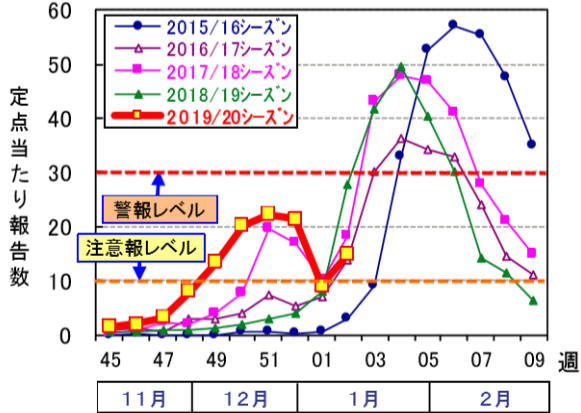
定点当たり14.9人の報告がありました。今後、さらに患者数が増加し、数週間のうちにも流行のピークに達すると予測されます。

インフルエンザの予防及び流行の拡大を防止するため、十分な休養とバランスのとれた食事を心がけ、流水・石けんによる手洗い、咳エチケットの励行、適度な湿度(50～60%)の保持、人混みへの外出は避けるなどの対策を心がけましょう。

2. 梅毒

3件の報告がありました。

インフルエンザの流行状況



第1週は、年末年始による休診のため、定点医療機関からの患者報告数が少なくなっている可能性があり、正確な比較ができないため、第2週は「定点把握感染症報告状況(週報対象)」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	552	14.92	19.93		小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.62	
	咽頭結膜熱	9	0.38	0.40			RSウイルス感染症	10	0.42	0.44	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40	1.67	2.29			急性出血性結膜炎	-	-	0.08	
	感染性胃腸炎	165	6.88	8.37			流行性角結膜炎	3	0.38	0.80	
	水痘	15	0.63	0.76			細菌性髄膜炎	1	0.14	-	
	手足口病	2	0.08	0.21			無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	19	0.79	0.43			マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.23	
	突発性発しん	5	0.21	0.34			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.02			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.11	

急増減 ↑ (赤) 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ (黄) 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↘ (白) 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇄ (白) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	アメーバ赤痢	2	2	男性(40歳代)、男性(50歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1	男性(50歳代)
5	急性脳炎	2	2	女性(10歳未満)・2人
5	梅毒	3	3	女性(20歳代)・2人、男性(40歳代)・推定感染地域: 国外・1人
5	百日咳	2	2	男性(10歳未満)、女性(10歳未満)

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.6) 咽頭炎 気管支炎	46	男	2019/12/04	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載